

# 糖尿病・内分泌内科

## 概 要

部 長：松 岡 直 樹  
ス タ ッ フ：部長+3名  
専 攻 医：2～3名

年間入院患者数：約 400 名  
一日外来患者数：約 100 名

### 【参加予定の学会および研究会】

内分泌学会、糖尿病学会、内科学会、甲状腺学会、内分泌研究会、甲状腺研究会、糖尿病臨床フォーラムなど

### 【認定教育施設】

日本糖尿病学会認定教育施設  
日本内分泌学会内分泌代謝科認定教育施設  
日本甲状腺学会認定専門医施設

## 特 徴

1. 糖尿病教育入院はクリニカルパスで行っている。カンファレンスにはコメディカルも参加してチーム医療に徹している。
2. 昏睡（高血糖・低血糖）等の救急患者が多い。
3. 当科入院患者以外にも他科入院患者・Kobe Eye Center 入院患者に対応する。
4. 内分泌疾患がバラエティーに富んでおり、専門医修得に向け十分な経験ができる。
5. 甲状腺癌  $^{131}\text{I}$  治療は年間約 100 例行い、他施設からの依頼も多数受け入れている。

## 一 般 目 標

全ての糖尿病内分泌疾患の診断および治療（生活指導を含む）ができるようになるための診療能力を身につける。数多い外来患者や救急患者にも対応できるようになる。研究成果を学会および論文で発表する。

## 行動目標

- 1年目：** 糖尿病・内分泌疾患に関する知識および検査技術を習得する。  
入院患者の診察を確実に行うことができる。  
救急患者の対応ができる。  
他の内科をローテートし、内科専門医取得に必要な症例を経験する。
- 2年目：** 連携病院での研修をする。  
後輩医師の指導ができる。  
研究テーマを決定する。
- 3年目：** 専門外来患者の診察をスムーズに行うことができる。  
臨床経験を深め、研修を完成させる。（3年コースの場合）  
研究成果の発表を行う。
- 4年目：** 研修を完成させる。（4年コースの場合）  
連携病院での研修を経験する（4年コースの場合）

各年度での研修内容は状況に応じて個別に相談の上決定します。

連携病院では一般内科研修をする場合と糖尿病・内分泌領域の研修をする場合があります。  
専門医制度が変更となる場合は、途中で研修予定内容が変更となる場合があります

## 達成目標

1. 必須疾患に関して3年間もしくは4年間でほぼ全ての疾患の主治医になる。
2. 学会・研究会発表は毎年2回以上行う。論文発表は3年間もしくは4年のあいだに1編以上執筆する。
3. 2年目もしくは3年目より外来は週1回行う。外来患者数1日30名以上は診察する。
4. 主治医として患者を担当し初期研修医の指導を行う。
5. 糖尿病内分泌領域の各種救急患者は1人で対応できるようになる。
6. その他  
糖尿病教室の講師を務める。  
クリニカルパスの作成・修正・バリエーション評価に積極的に参加する。

## 週間スケジュール

月曜日	内科カンファレンス（月1回を予定）
火曜日	甲状腺穿刺細胞診、内分泌カンファレンス、回診
水曜日	糖尿病カンファレンス、回診
木曜日	甲状腺エコー、抄読会、学会・研究会発表予演会
その他	糖尿病教室（月1回）、甲状腺カンファレンス（月1回） 甲状腺エコーカンファレンス（3ヶ月に1回程度）

## 専門研修プログラム

神戸市立医療センター中央市民病院内科専門研修プログラムは、当院ホームページをご参照ください。

URL : [http://chuo.kcho.jp/recruit/late\\_resident](http://chuo.kcho.jp/recruit/late_resident)

## 見学等問い合わせ先

松岡 直樹 : [nmatsuoka@kcho.jp](mailto:nmatsuoka@kcho.jp)